

校長室だより(No.31)

令和3年11月18日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

職場体験学習の意義 トライやる・ウィーク

新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度は、1日の活動で終わった中学生のトライやる・ウィークでしたが、今年度は、11月に3日間実施されました。黒井小学校にも4名の中学校2年生が来てくれました。4人と話をしますと、それぞれにこの職場を選択した理由を言ってくれました。

職場体験の意義としましては、まず、勤労観、職業観の育成の場ということができます。小学生の行う見学と違い、実際に仕事をしている人と接し、自分自身も体験することで、働くことの意義や目的の理解、進んで働こうとする意欲や態度など育みます。将来のつきたい仕事に直接関わりのない職場であったとしても勤労観、職業観を育むまたとない機会だと思えます。

次に、新たな自分を発見する場ということもできます。「私は、人とかがかわることが苦手だから敢えて学校という職場を選びました。」と言ってくれた生徒がいました。自己の個性や適性を把握し自己理解を深めていく上で、様々な体験・経験を積み重ねることは、極めて重要です。自分が人の役に立つ存在であることがわかったり、新たな可能性を見つけたりする場合も多いと考えます。

3つ目は、先にもあげましたがコミュニケーションスキル、人間関係の大切さを体得する場と言えます。そこで働いている様々な年代、世代の方とのコミュニケーションを通して社会での基本的マナーや言葉遣いなどを身につけることができる場でもあると考えます。

4つ目は、学校での学習と社会生活に必要な知識、技術・技能をつなぐ場ということができます。学校での学習がその職場でどのように役立っているか肌で感じる機会です。接客等についていえば来店者が求めていることについて必要な情報を集めて、自分なりに理解した上で、相手の状況に応じてわかりやすくまとめ、適切な表現方法で伝えることが必要になってきます。これまで学校で学習してきたことを総動員して、ことにあたっていることと思えます。

教師にとっても学校でしか見ていなかった生徒を学校外で見ることで、これまでには見られなかった生徒の姿やその変化を見ることができます。生徒一人ひとりの理解が一層深まると考えます。保護者にとっても「働くということ」を通して、家庭での対話が増え、働くことの尊さや保護者に対する感謝の念を育むことが考えられます。地域や事業所にとっても、地域(事業所)が一体となって地域の子どもたちを育てていこうとする気運が高まることやそれぞれの事業所も地域や社会に貢献することになると考えます。

このように職場体験には、いろいろな効果が期待できると考えています。

